

中小企業がベトナム集団進出構想 ⑩

金型技術を普及させるため、中小企業がベトナムに集団進出する構想が立ち上がった。競争力の源泉といわれた金型企業を再興させる狙い。

日本の金型技術をベトナムに普及させるため、中小企業が現地に集団進出する構想が立ち上がった。NPO法人アジア起業家村推進機構(IDEA、川崎市幸区)が経済産業省の支援を得て海外展開を具体化する。成長著しいベトナムに活路を見いだすことで、日本の製造業の競争力の源泉といわれた金型企業を再興させる狙いだ。

(三木 崇)

20日に川崎市内で開かれたセミナーで、IDEAの山口理事長が構想の概要を明らかにした。詳細は今後決めるが、集団進出先となる工業団地内に人材育成や企業間交流、情報提供などを行う中核施設「テクノセンター」を設ける案を検討している。

金型企業は国内の需要低迷に加えて自動車や電機メーカーが安価な中国や韓国製を採用していることで苦境に立たされている。山口理事長は「川崎だけでなく日本全国の金型企業を巻き込みたい」と話した。

セミナーでは中国・華南地

アジア起業家村推進機構が構想

ベトナムに集団進出を

中小金型企業 再興狙う



区でテクノセンターの設立実務がある香港和信副会長の川副哲氏(香港華英グループ代表)が講演し、「テクノセンター」は進出企業の駆け込み寺。電気・ガスなどのインフラの提供、税関手続き、物流、福利厚生などを幅広く担う施設」と述べ、海外経験が少ない中小企業にメリットがある」と訴えた。

IDEAは本年度、金型企業を含む複数の中小企業が連携してベトナムに進出し、世界に通用するブランド力の確立を目指す「日越金型ブランド化事業」に着手。地域中小企業の海外販路の拡大を図る取り組みが評価され、経済産省の「JAPANブランド育成支援事業」に採択されている。

ベトナムに金型企業を集団進出させる構想を発表する山口理事長(川崎市産業振興会館)